

ぼれぼれ 通信



日本の防衛が
変わる?!

3・4月号
vol.69

防衛力整備計画について

2022年12月
省
防

安保3文書で 日本の防衛は変わるのか？

昨年末に、いわゆる安保3文書と言われる「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」が閣議決定された。以前は、「防衛計画の大綱（防衛大綱）」、「中期防衛力整備計画（中期防）」と称していたが、名称も新たにし、中身も改められた。「国家安全保障戦略」は、日本の国家安全保障に関する基本方針であり、それを踏まえて我が国の防衛目標を達成するためのアプローチ及びその手段を包括的に示すために「国家防衛戦略」を策定し、我が国として保有すべき防衛力の水準を示し、その水準を達成するための中長期的な計画が「防衛力整備計画」である。

我が国の防衛における基本的な考え方として、防衛目標は、

1. 力による一方的な現状変更を許容しない安保環境を創出すること、2. 力による一方的な現状変更やその試みを抑止・対処し、早期に事態を收拾させること、3. 我が国への侵略を我が国が主たる責任をもつて対処し、阻止・排除することである。それらの防衛目標を実現するためのアプローチとして、

1. 我が国自身の防衛体制の強化、2. 日米同盟の抑止力と対処力、3. 同志国との連携が掲げられている。

言うは易く行うは難し 反撃能力保有の現実

今回の安保3文書で一番話題になつたのは、反撃能力を有することを決めたことであろう。確かにこれは防衛政策の転換と言

える。反撃能力は我が国への侵攻を抑止する上での鍵である。近年、我が国周辺のミサイル戦力は質・量ともに著しく増強され、ミサイルの発射も繰り返されており、ミサイル攻撃が現実の脅威となつていて。今後も、変則的な軌道で飛翔するミサイルなどに対応し得る技術開発を行なうなど、ミサイル防衛能力を質・量ともに不斷に強化しなければならない。しかし、既存のミサイル防衛網だけでは完全な対応が困難になりつつある。そのため、ミサイル防衛により飛来するミサイルを防ぎつつ、相手からの更なる武力攻撃を防ぐために、我が国から有効な反撃を相手に加える能力が必要なのである。

もトマホークのような射程距離の長いミサイルなどを持てば、それで済むという単純な話ではない。先ず、敵基地などの所在位置、そして、その状況を把握する能力が必要であり、そのような能力や装備品は、現在の自衛隊にはない。仮に、敵基地などの状況を把握できたとして、そこまで届く射程距離が長いミサイルを有していたとしても、そのミサイルが相手に迎撃されずに無事に目標物に命中するまでの間、そのミサイルを守りつつ、ミサイルを叩いてくる相手側の勢力を事前に叩いておかなればならないが、もちろん、現在の自衛隊にそのような能力も装備品もない。文書の中で反撃能力の保有を決めただけでは、現実にその能力は保有できない。国民の命と平和な暮らし

ついに明かされた 不都合な真実

今回の安保3文書においてあまり報道されていないが、大きなか

を守つていいくには、まだまだやらなければならぬことが山積している。



▲共食い整備により部品取りされたF-2戦闘機

防衛政策の変化があつた。それは、弾薬問題と稼働率問題である。これらの問題を初めて正面から受け止め、公表し、改善に向けた方策を打ち出した。

有事において我が国への侵攻を阻止するためには、必要十分な数量の弾薬を保有しておくことが必要であり、弾薬の保有量は抑止力の重要な要素である。今まででは、我が国を守るために十分な備えはあり、どこにどれだけ弾薬があるのかは、我が方の手の内を明かすことになるので、答えられない、と言うのが、政府の答えの定型パターンであった。しかし、今回の国家防衛戦略においては、ある意味大胆にも十分な数量を整備できていないことを認め、公表し、真に必要な弾薬の数量を整備す

ることにしたのである。

稼働率の問題も、個別の装備品、例えば、F-15戦闘機が、どの程度稼働しているのか、と聞かれたとしても政府としては、我が方の手の内を明かすことになるので答えられない、としていた。だが、今回の国家防衛戦略では、共食い整備と言われる何かしらの理由で使用できなくなつた装備品から使える部品を取り出して同じ装備品の修理に充てている現実を公表し、そのようなことが生じることの無いよう装備品の充実した調達を求めた。

従来、手の内を明かさなかつたのに、今回、明かして大丈夫なのか？と懸命な読者は感じることであろう。今までであれば、

足りないことを公表したとしても新たに予算が付き補充できる状況ではなかった。装備品の稼働率が悪いと公表したとしてもそれを補うだけの予算が付くわけではなかつた。つまり、手の内を明かして改善が見込めるのであれば、素直に公表して補充なり、修理なりを行えばよかつたことであろう。しかし、そのような状況ではなかつた故に詳らかにせずにある意味お茶を濁していたと言わざるを得ない。防衛予算が倍になるのであれば、十分に補充もできる、修理も調達もできる。従つて、弾薬が不足していること、装備品が十分に足りず高い稼働率を維持できていないことを公表し、真に必要な防衛力を整備しようとしましたわけだ。もちろん、今までの中期防が必要な防衛力の整備



▲共食い整備により部品取りされたP-1のエンジン

を怠っていたわけでは決してない。むしろ限られた予算の中で最大限のパフォーマンスを発揮するための計画を立て続けてきたと断言できる。この観点から言えば、今回の安保3文書に対して反撃能力を有することを決めたことを画期的な政策転換であると報じる向きもあるが、実は、弾薬不足問題、装備品の稼働率の問題を公表し、それらを改善させることを決めたこの方が、はるかに日本の防衛力の整備にとつては、とても大きな転換点だったと言えよう。

ただ、予算が増え、必要数量の弾薬が調達できたとしてもそれらを全て格納するための火薬庫は、我が国には無い。火薬庫の増設も必要となる。有事に際して真に戦える自衛隊ではなかつたことが、今回の安保3文書によつて白日の下に晒された格好になつたが、これを契機に真に戦える自衛隊へと改革させなければならぬ。それが、我が国の最も重大な責務である、国民の生命と平和な暮らし、そして、我が国の領土・領空・領海を断固として守り抜く安全保障の根幹だからである。



会議室を一般開放しています

事前予約のみで会議室が使用できる!

JR鎌倉駅(西口)の目の前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの事務所だけでなく、会議室として一般開放を行っています。事前のご予約のみでご利用いただけるので、地域や町内の活動のための会議などにぜひご活用ください! また、定期的なご使用や、商業目的のご使用の場合は、別途ご相談いただければと思いますので、まずはお気軽に下記山本ともひろ事務所までお問い合わせください。

※公職選挙法の関係で、無料で開放することができないことから、使用料をいただきますこと、ご了承ください。



▲自由民主4区会館の外観



▲第1会議室



▲第2会議室

自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料	
第1会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円
第2会議室 (定員15人)	午前9時～12時	1,000円
	午後13時～17時	1,000円
	夜間18時～22時	1,000円

■山本ともひろ事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL.0467-39-6933



駅で「ぽれぽれ通信」を
お配りしております

駅頭活動報告

「早くコロナが収まつていつもと
同じ活動が出来るといいですね！」
などのご意見をいただいてます！
ありがとうございます！

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぽれぽれ通信」配布数

1月・2月集計分

駅名	1月	枚数	2月	枚数	前月比
逗子駅				—	—
逗子・葉山駅				—	—
鎌倉駅(東口)				—	—
鎌倉駅(西口)				—	—
大船駅(西口)				—	—
大船駅(モノレール口)				—	—
大船駅(東口)				—	—
大船駅(笠間口)				—	—
本郷台駅				—	—
港南台駅				—	—
	1月配布合計		2月配布合計	—	—

1月、2月は、新型コロナウ
イルス感染症の流行「第八
派」による感染拡大抑止のた
めに駅頭活動を控えました。

簡単にアクセス
できます！

Twitter facebookは本人がやっています

専用のアプリをダウンロードして右のQR
コードを読み取りください。(iPhone除く)



Twitter



Facebook



HP

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

自由民主党
衆議院議員(5期 14年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)
昭和50年(1975年)生まれ
47歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。

ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和5年(2023年)3月1日発行 第69号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。
またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。